

## 「相棒」

◎学習書P76～85

主たる登場人物の確認

・原くん

・木山さん

この人物に関する描写を追いながら、作品の全体像をつかむ。

問六、要約問題

教科書P90・上175

「二日目も三日目も、こんな具合だったので、原くんはつくづく愛想が尽きた。」

○「こんな具合」の指す内容が解答範囲となる。↓P90・上3～10

○解答範囲の内容を三つの文にする。

※八も要約問題です。解答の範囲から、三つの文で表すこと。

問十一、原くんが腹を立てていた理由

教科書P95・上1～4

○2点あり

①知らないうちに経営者が変わっていたこと

②今まで木山さんが腹の中で笑っていたにちがいないと思うこと

悔しかったから。

問十二、

二人（原くんと木山さん）のやりとり（様子）から心情を考える。

・木山さんからの申し出

「……「これからまずっと一緒にやってもらいたいんだ、わたしの相棒として。……」

・木山さんの原くんに対する信頼

「……心から喜んでもらえるスタンスにして、お得意さんを増やしたいんだ。……どうだ  
い手伝ってくれないか。」

・原くんの反応

「……ほほえんだ。木山さんと握手を交わしたとき、……」木山さんの信頼に応える。

・二人の行動

「二人は元氣よく叫びながら、競い合っつづに飛び出していった。」

↓ 前向きで明るい気持ち。

問十三、上記【問題十二】の説明を参考し。

◎学習書P96も見てください。